

IPDヒアリング記録 概要版(その3)

ヒアリング項目・内容		農業系コンサルタントG社	バイオベンチャーH社
1) 貴社について			
①	業種分類と実態としての活動分野をお教えください	建設コンサルタンツ業が主体（8割）、農業分野が主体	研究・技術開発を中心とした技術サービス業
②	貴社の概要（資本金、従業員人数など）や企業文化・風土についてお教えください	従業員270名程度（技術者190名、技術士・技術士補がほとんど）、拠点・部署ごとに独自性が強かったが最近が変わってきている	資本金16億、従業員40数名、上場は果たしたが現在もベンチャー企業の段階
③	技術士（もしくは別の国家・民間資格）取得を、技術者育成や評価の対象としていますか	技術士を取得しているのが当然という風潮	そこまで至っていない
2) 貴社の技術者育成の仕組みについて			
①	人事制度について教えてください（ジョブ型・成果主義・評価体制・指標・コンピテンシーなどの視点で）	（一般職）一次・二次評価者⇒部署のトップが評価、（管理職）実績・業績で評価	評価項目が7項目ほどあり、各自にグレード（職位）を設定、半年ごとに評価している
②	若手技術系人材をどのように育成されていますか（下記③④とまとめた回答でも可です）	社内研修・外部研修が基本、農業農村工学会のCPDポイント年間30を必須としているが、まずスタートは目標意識を持たせること	マルチな人材を求めていることから、部署というよりプロジェクト単位で幅広いOJTを実施
③	上記②の育成の中で、専門的な能力を開発する方法を取り入れていますか	働き盛りをメンバーとした技術本部委員会を設け、勉強会の企画など部署横断的な企画を様々進めている	-
④	上記②の育成の仕組みを制度として整えていますか	-	-
3) 貴社の技術者育成システムとIPDとの関係性について			
①	IPDの実践と貴社の若手人材育成の仕組みに類似点や共通点がありますか あるいは既に取り入れていますか	若手の基礎学力の確認、不足部分の学び直しにIPDとの共通点を感じる	PCの分類が自社の7つの評価項目にリンクしており、更に取り入れる余地があると考える
②	類似点や共通点がある場合、どの部分が最も類似・共通しているでしょうか	-	同上
③	類似点・共通点以外にIPDの考え方を取り入れてみたいと思われる箇所はありますか	-	同上
④	類似点や共通点がない場合、IPDのことをもっと知り、自社の人材育成の仕組みに取り入れてみたいと思えますか	-	-
⑤	社員教育制度に国際的な同等性や通用性を必要としていますか	当初はAPECエンジニアも積極的に取得していたが、国際業務からの撤退もあり、現在はあまり必要性を感じていない	自社の活動分野が今後さらに国際的になるであろうことから、必要性は感じている
4) 貴社の技術者評価の仕組みとIPDとの関連性について			
①	個別技術のスキル評価をどのように行っていますか	具体的なものは持っていない	現状、体系だった評価基準はないが、CSO・CTOという評価者を置き、個々のスキル評価を行っている
②	上記①の評価の仕組みをIPDに置き換えることは可能と思えますか	ベーシックな部分を置き換えることは可能と考える	部分的に可能性はある
③	上記②で不可の場合、何が障害になっていますか	-	ベンチャー企業ゆえにスピード感が重要であり、評価体系の組み立てとマッチするかに懸念がある
④	IPDを昇格の際の判断材料として貴社の人事制度に取り入れることは現実的と思えますか	-	可能性があると考えている
⑤	上記④の人事制度に取り入れることが現実的ではない場合、どのような課題や障害が内包されていますか	-	-
5) IPDシステム（IPDを実践・記録・評価する仕組み）に対するお考えについて			
①	IPDシステムが構築される場合に、貴社の社内教育制度をIPDとして認証する仕組みや機関が必要とお考えですか	認証機関は必要だと考える	-
②	上記①の認証機関にはどのような要件が必要と思えますか	効率良く進めること	-
③	IPDの実践には支援者の役割が重要になりますが、貴社において上司をIPD支援者として任命することは可能ですか	現在の教育指導と同じく上長であれば可能	-
④	より良い人材を中途採用するという視点で、IPDシステムを構築することにメリットを感じますか	中途採用であれば技術士取得済みであることが前提となってしまう（ので、IPDポイントとは結びつきにくい）	中途採用が中心なので、一つの評価・判断基準として期待できる
⑤	上記④の具体例としてIPDポイントが示された場合、中途技術者採用の際にIPDポイントを評価されますか	-	同上
6) コミュニティ参画への意向			
①	以上のご回答を踏まえてIPDに対する印象をお聞きます 今後貴社の育成システムにIPDの考え方をどの程度取り入れてみたいですか	IPDポイント取得が自己学習の進捗を証明するものとなれば取り入れたい	取り入れられる部分は積極的に取り入れたい
②	IPDシステムは社会の支援の中で構築（IPDコミュニティを形成）していく必要があります 貴社はIPDコミュニティに参画してみたいと思えますか	-	参画してみたい
7) その他補足質問：設問5)に追加			
①	農水省の技術士（CPD認定）の加点については	1点とはいえ影響はあったと感じる	-
②	女性の活用については	女性技術士も4名おり、採用の半数が女性という年もある。日本技術士会の技術サロンも活用している	-
③	どのような国際的人材を求めているか	-	いままではDr取得者が中心であったが、今後はエンジニアという観点が必要になってくると考えている